

2017年8月2日

報道関係各位

GMO アドマーケティング株式会社

「GMO SSP」、不正広告対策ツール「^{ブラックヘロン}Black Heron」と連携 ～不正広告（アドフラウド）の掲載を防ぎ、媒体の信頼性を向上～

GMO インターネットグループの GMO アドパートナーズ株式会社の連結会社で、アドテクノロジー事業、メディアセールス事業を展開する GMO アドマーケティング株式会社（代表取締役社長：渡部謙太郎 以下、GMO アドマーケティング）は、媒体社向け収益最大化プラットフォーム「GMO SSP」（URL：http://gmosp.jp/）において、Momentum 株式会社（代表取締役社長：高頭博志 以下、Momentum）の不正広告（アドフラウド）対策ツール「^{ブラックヘロン}Black Heron」（URL：http://www.m0mentum.co.jp/service/blackheron.html）との連携を、本日 2017 年 8 月 2 日（水）より開始いたしました。

本日より順次、「GMO SSP」をご利用の媒体において「Black Heron」による広告枠のモニタリングを開始し、機械的なインプレッションやクリックによる効果のない広告表示を大量に発生させるといった不正広告を検知した際は、「GMO SSP」の管理画面を通じて媒体社に速やかに通知いたします。これにより、広告主の無駄なコスト負担を防ぐと同時に、広告枠の透明性・健全性を保ち、ひいては「GMO SSP」をご利用いただいている媒体全体の信頼性向上につなげてまいります。

【「Black Heron」との連携の背景】

国内のインターネット広告市場が拡大を続ける昨今、特にディスプレイ広告において、不正広告（アドフラウド）の問題が顕在化しています。不正広告には、代表的なものとして以下の種類があり、その被害は市場の拡大に伴って多様化・増加していると言われています。

●ボット（bot）による不正なインプレッション

コンピューターの自動プログラムである「ボット（bot）」を悪用することで、人間の行動を装って Web メディアを閲覧し、広告に対して機械的にインプレッションやクリックを発生させること。

●ドメインのなりすましによる不正サイトへの広告掲載

ドメインのなりすましにより、本来の広告配信先（媒体）ではない不正な Web サイトに広告が掲載されること。

●アドインジェクションによる不正な広告の表示

悪意のある第三者により、Web サイト運営者の許可なく広告を挿入したり、別の広告と差し替えて表示したりすること。

実際に、国内のディスプレイ広告におけるインプレッションの 3～10%、クリックの 8～15%程度が不正な行為によるものであるという調査結果もあります（Momentum の調査より）。こうした行為は、広告主の求める成果につながらず、無駄なコスト負担となっています。また媒体社側においては、広告収益の機会を失うだけでなく、広告主からの信頼を失い、入札の減少による広告枠の収益性の低下を招きかねません。そのため媒体社側でも、不正広告の掲載を防ぐ施策を行うことが重要です。

そこでこの度 GMO アドマーケティングは、媒体社向けの収益最大化プラットフォーム「GMO SSP」において、Momentum が提供する不正広告対策ツール「Black Heron」との連携を開始いたしました。

【「GMO SSP」と「Black Heron」の連携で実現すること】

Momentum が提供する「Black Heron」は、オンライン（インターネット）広告における、不正な広告取引の監視・対策を行うプラグインです。約 90 種類の判断基準を組み合わせた独自のアルゴリズムによるスコアリング（フラウドスコア）を活用することで、悪意のあるボットやアドインジェクションといった無効果なインプレッションやクリックを検知し、不正広告の出稿を回避することができます。今回の「GMO SSP」と「Black Heron」の連携により、「GMO SSP」をご利用の媒体の広告枠が不正広告の被害に遭っていないかをモニタリングすることが可能となります。不正広告を検知した場合は、「GMO SSP」の管理画面内で速やかに通知するため、媒体社は該当広告の掲載停止といった対応を行うことができます。これにより、媒体社には「GMO SSP」の広告枠全体の透明性・健全性が高まり、結果的に広告主は信頼できる媒体へ適切な広告配信が可能となるという、良い循環が期待できます。

【「GMO SSP」について】（URL：<http://gmosp.jp/>）

複数の DSP^(*1)、アドネットワーク^(*2)を組み合わせ独自のロジックで最適化配信を行う収益最大化プラットフォームです。ネイティブ形式、バナー形式をはじめとする各種広告フォーマットに対応し、媒体社のコンテンツ配置、ユーザビリティに配慮しており、ご提案から開始後の向上施策まで専任のコンサルタントがサポートいたします。

また、自社開発のコンテンツレコメンドエンジン「TAXEL byGMO」(<http://taxel.media/>)およびネイティブ広告に特化したアドネットワーク「AkaNe byGMO」(<http://akane-ad.com/>)と連携することで、媒体社様のトラフィック増加とネイティブ広告領域での収益最大化も同時に実現することが可能です。

(*1)DSP：デマンドサイドプラットフォーム(Demand Side Platform)の略称で、広告のインプレッション（露出）が発生するたびに閲覧ユーザーの属性や広告の掲載面などの情報を分析し、より効果の高い広告枠のバイイング（仕入れ）から配信までを効率的に行う、広告主向け統合プラットフォーム。

(*2)アドネットワーク複数のメディアサイトをまとめて広告配信ネットワークを作り、1 事業者のアドサーバーから複数メディアへまとめて広告を配信するサービス。

【GMO アドマーケティングについて】

GMO アドマーケティングは、アドテクノロジー事業・メディアセールス事業・コンテンツマーケティング事業を中心とする、GMO アドパートナーズ株式会社のグループ会社です。アドネットワーク・SSP・レコメンドウィジェット等の自社アドテクノロジー商品とメディアセールス事業の販売網、専門部署によるコンテンツ型広告の企画・制作力を活かし、媒体社、広告主、消費者の三方良しを実現するべく事業を行っております。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO アドパートナーズ株式会社 経営企画部
TEL：03-5457-0916 FAX：03-5728-7701
E-mail：release@ml.gmo-ap.jp
- GMO インターネット株式会社 グループ広報・IR 部 石井・島田
TEL：03-5456-2695 E-mail：pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO アドマーケティング株式会社
SSP 事業部 担当者：長谷川
TEL：03-5457-0909 FAX：03-5457-0910
E-mail：product@ml.gmo-am.jp

【GMO アドマーケティング株式会社】（URL：<http://www.gmo-am.jp/>）

会 社 名	GMO アドマーケティング株式会社
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1-16-3 渋谷センタープレイス
代 表 者	代表取締役社長 渡部 謙太郎
事 業 内 容	■アドテクノロジー事業 ■メディアセールス事業 ■メディア事業
資 本 金	2,000 万円

【GMO アドパートナーズ株式会社】 (URL : <http://www.gmo-ap.jp/>)

会 社 名	GMO アドパートナーズ株式会社 (JASDAQ 証券コード : 4784)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 16 番 3 号 渋谷センタープレイス
代 表 者	代表取締役社長 橋口 誠
事 業 内 容	■メディア・アドテク事業 ■データテクノロジー事業 ■エージェンシー事業 ■ソリューション事業
資 本 金	13 億 156 万 8,500 円

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■モバイルエンターテインメント事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2017 GMO AD Marketing Inc. All Rights Reserved.